

令和四年度 奈良金春会演能会

令和四年十月十六日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール
奈良市春日野町一〇一番地
電話(〇七四二)二七一二六三〇(代)



仕舞 枕慈童 酒井賢一
胡蝶 湯本哲明
鶺鴒 飼キリ 金春嘉織

能 敦 盛

シ テ(前・草刈盛の霊) 中田能光
ツ レ(草刈男) 田中直樹
ツ レ(草刈男) 松浦良太
ワ キ運生法師 原陸
ア イ(須磨浦の者) 島田洋海
笛 左鴻泰弘
小鼓 荒木建作
大鼓 辻芳昭

〽 休 憩 二十分 〽

狂言 口真似

シ テ太郎冠者 茂山七五三
ア ド(主 人) 茂山宗彦
ア ド(客 人) 茂山逸平

室君 金春飛翔
経政キリ 本田布由樹
仕舞 富士太鼓 金春安明

能 遊 行 柳

シ テ(前・老翁の精) 金春康之
ワ キ(遊行上人) 原大
ワ キツレ(從僧) 原陸
ア イ(所の者) 鈴木実
笛 左鴻泰弘
小鼓 荒木建作
大鼓 辻雅之
太鼓 中田弘美

敦 盛 (あつもり)

解 説 中 司 由 起 子

源氏の武将、熊谷次郎直実は出家して蓮生(ワキ)と名乗り、自らが手につけた平敦盛を弔うために須磨浦一の谷を訪れる。そこへ草刈り男たち(前シテ・ツレ)が笛を吹きながら現れ、蓮生と言葉を交わす。やがて草刈り男たちは去ってしまいが、一人だけ居残った男が、自分は敦盛であるとのめかし消え失せる。須磨浦の者(アイ)が現れ、敦盛の最期を語り立ち去る。蓮生が供養すると、敦盛の亡霊(後シテ)が出現。敦盛は平家一門の流転の運命を語り舞い、直実に討たれた様を見せ、さらなる弔いを願う。

青葉などの笛についての謡や敦盛の舞う「中ノ舞」など、風雅な要素のある修羅能。世阿弥作。

遊行柳 (ゆぎようやなぎ)

諸国を廻る遊行上人(ワキ)が供の僧(ワキツレ)とともに奥州白河の関を通りかかり、老人(前シテ)に呼び止められる。老人は古い街道を教えようと言い、古塚の上の「朽ち木の柳」に案内する。さらに昔、西行法師がこの柳の陰で「道のべに清水流るる柳蔭、しばしとてこそ立ちどまりつれ」の歌を詠んだことを語り、塚のほとりに姿を隠す。所の者男(アイ)から話を聞いた上人が念仏を唱えていると、白髪の柳の精(後シテ)が現れる。柳の精は柳にまつわる和漢の故事を語り、舞を舞い消え失せる。

柳の精は上人の念仏に感謝をし、「序ノ舞」を静かにゆつたりと舞います。観世信光による閑寂な趣の作品。

次回予告

十一月二十七日(日) 午後十二時半

能 金 札
能 紅 葉 狩高 橋 忍
金 春 飛 翔

五枚繰回数券

二〇、〇〇〇円

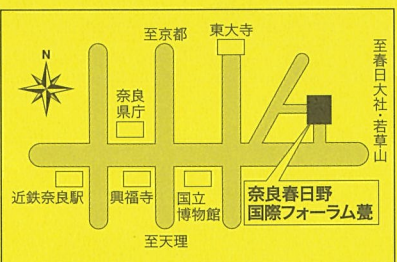
一般一回券

五、〇〇〇円

学生一回券

二、五〇〇円

◎鑑賞券(学生券を除く)は、奈良春日野国際フォーラム薨でも取り扱います。



奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール

電話(〇七四二)二七二二六三〇代

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良市教育委員会

後援 奈良県

(公社)金春円満井会

お問合せ 電話

(〇七四二)三三一九七二〇 金春

◎奈良県新公会堂は、平成二十七年から、奈良春日野国際フォーラム薨に改称されました。

◎特別に許可された人以外の写真撮影・録画・録音は お断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など 他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は 現在一般の方の車の受け入れをしております。

車でお越しの方は 他所に駐車場をお求めいただくことになります。

◎満席の場合など 当日会場では入場券を発売しない事があります。又 入場制限する事もあります。

◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

◎新型コロナウイルス感染症対策として

●ご来場されましたら必ずマスクを着用し、アルコール消毒の後、受付で記帳をお願いいたします。

(万が一の場合の追跡調査用としてのみ使用いたします。)

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。

●会場の定員は五〇〇名ですが、新型コロナウイルス感染症対策として座席数に制限をかける場合があります。